

審議会会議録

審議会等の 名称	第1回 瑞穂市総合計画等評価審議会
開催日時	平成28年9月29日(木曜日) 午後6時00分から8時30分
開催場所	総合センター 第4会議室
議題	・「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成 27年度実績の評価について
出席委員 欠席委員	出席委員 11名 畦地真太郎会長、太田定敏副会長、浅野楔雄委員、 大森宗委員、川角玄委員、小寺徹委員、 広瀬英昭委員、福田康晴委員、麓英里委員、 吉田明貴子委員、吉田敏之委員 欠席委員 1名 梶浦良子委員
公開・非公開 の区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	開 会 【事務局】 ・委員総数12名に対し過半数を超える11名の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。 ・本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により原則公開することを各委員に確認し了承を得た。(傍聴者希望者無し) 委嘱状交付 ・出席の11名に委嘱状を交付した。 市長あいさつ 委員自己紹介

瑞穂市総合計画等評価審議会について

【事務局】

- ・資料①（P 1 ～ 1 4）を用い、第2次総合計画、瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び本審議会の概要について説明を行った。

【K 委員】

- ・本審議会が取り組む事項は、市から示される目標指標について評価するだけなのか、審議会の希望により調査を実施することもあるのか。また、評価はどのように行えばよいのか。

【事務局】

- ・調査は可能だが、ひとまずは評価を優先にお願いしたい。総合戦略、総合計画ともに目標指標を定めており、それに対し結果がどうだったのかを判断基準にしていきたい。
- ・総合戦略の評価は、国の評価様式が定められており（平成27年度実績は定められている）それに基づいた評価をお願いしたい。
- ・一方で総合計画の評価は、市独自で実施するものであり、調査については今後の審議の流れにより判断したい。また、評価は実施計画ベースで判断していただくことを予定している。

会長・副会長の選任

- ・委員による互選の結果、畦地委員を会長、太田委員を副会長に選任した。

諮 問

【市長】

- ・「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27年度実績の評価について諮問した。（資料②）

議事「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27年度実績の評価について

【会長】

- ・事務局に対し評価方法について説明を求めた。

【事務局】

- ・資料①（P 1 5 ～）を用い評価方法について説明を行った。

【会長】

- ・平成27年度に実施した事業について各担当課に説明を求めた。

【各担当課】

- ・資料③を用い実施した事業について説明を行った。（全11事業）

【会長】

- ・各課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

「01若年層の結婚への意欲啓発事業」について

【G委員】

- ・当イベントは、朝日大学と連携した事業とのことだが、参加者210名のうち、一般の参加者は、どの程度であったのか。

【秘書広報課・企画財政課】

- ・正確な数値は把握していないが、会場を目視で確認した印象では、ほとんど一般の参加者であったと認識している。

【I委員】

- ・一般の参加者が多かったということは、既婚の方もいたと想像できる。事業実施後に効果測定のためのアンケートを取っているが、未婚の方はどの程度の参加であったのか。

【秘書広報課】

- ・未婚の方の参加は、71名であった。

「05地域資源を活用した観光振興事業」について

【E委員】

- ・市域観光資源の認知度、魅力度の向上を目標指標としているが、どのように測定したのか。

【商工農政課】

- ・平成27年5月と平成28年5月に美江寺宿場まつり当日に会場で実施したアンケートにより測定した。

項 目	H 27	H 28	比 較
認知度	61.2%	64.7%	+ 3.5%
魅力度	27.4%	43.7%	+ 16.3%

【K委員】

- ・美江寺宿場まつりなどのイベントを実施しているが、イベントは一過性のものになる傾向がある。今後、さらに盛り上げていくためには観光計画や事業計画を立て、取り組んでいく必要があるのではないか。

【商工農政課】

- ・今年度に観光振興計画の策定業務を行い、その業務内で中山道沿い等でのハード整備についても検討を行う予定である。

【F 委員】

- ・柿は海外で高額で取引されている。瑞穂市も柿の販路拡大について検討してみてもどうか。

「07 潜在保育士就業促進事業」について

【A 委員】

- ・潜在保育士就業復帰講習を受講した40名のうち、復帰できたのが1名と少ない結果であったが原因は何か。

【幼児支援課】

- ・主な原因は、受講者が保護者対応への不安や、自身の保育手法が時代遅れになっているのではないかという不安を感じていることである。これらの不安を和らげることが復帰者の増加につながると考えている。

「08 創業者支援事業」について

【B 委員】

- ・本事業で創業塾を開催しているが、創業したいという方を見つけることはなかなか難しいと思われる。創業塾の募集では、どのような人物、エリアをターゲットにし、どのような募集方法を取ったのか。

【企画財政課】

- ・参加しやすい時間、目に留まりやすいチラシなどにより募集したが、なかなか参加者に集まらず苦勞した。実際に参加いただいたのは30～60代の方で、既に創業済みの方が多く、参加者の8割程度が瑞穂市の方だった。

	【Ｋ委員】 ・潜在的な起業希望者は市内にも一定数はいると思われる。瑞穂市で起業しようという気持ちにさせる環境づくり、例えば市の特徴を研究し情報発信するなど、市の取組みが重要である。 その他議事等 ・次回会議を平成２８年１０月１３日（木）１８時より総合センター第４会議室で実施することとした。 ・次回の会議では、各委員の評価を審議会として一本に取りまとる審議を実施することとした。 閉 会
事務局 （担当課）	瑞穂市 企画部 企画財政課 TEL：058-327-4128 FAX：058-327-4103 e-mail：kikaku@city.mizuho.lg.jp